

はじめてのコルネット



曲線美の精華



ケーシングの接続方法に注目

素晴らしいデザインセンス



# Best Sound Club へようこそ

第6回

## BSCの 《ルーツ》を探る…

ご覧のコルネットは、BSC(プラス・サウンド・クリエーション)の総帥、KATO氏がはじめて手がけたコルネット。もちろん非売品である。まずはこの見事な、芸術品とみまごうばかりの曲線美に見惚れていただきたい。楽器族のハートをとらえて離さないBSCの「ルーツ」に迫ってみた…

俗に「永字八法」という。書道の基本が「永」という文字ひとつの中にすべてつまっている…というのだ。今回編集部が入手したこの写真は、BSCの創業者であるKATO氏が一番最初に製作したコルネット。「永字八法」と同様、この「処女作」には、金管楽器製造のさまざまな課題をKATO氏流に克服した、という「証」が随所につまんでいる。

ウォーターキーの直後わずかにスマートなカーブを描いて上昇しているマウスパイプがまず、ニクイ美しさで心をとらえる。さらに三番管

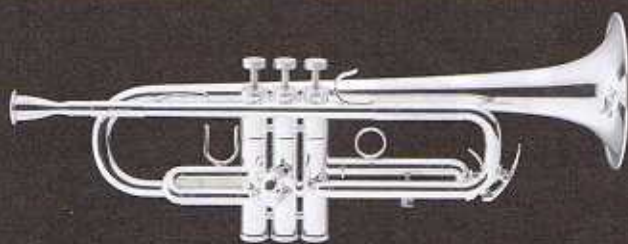
の先端が描く優美な曲線を描いているのに目が奪われる。三番管を使用する指使いはたいいてい音程があやしいものだが、そんなことなど気にしたくなくなるような見事なカーブ。そして極めつけは、やや下向きに重心をもたせたベル管の非対称形なカーブと、それにバランスする大きなベル。ここに目を奪われない楽器族は、はっきりいって「もくり」である。また、限りなく「点接触」で…という想いがおそらくはこめられているであろうケーシングとマウスパイプの接合方法など、いつまでも議論はつ

# BSC

Brass Sound Creation

from Luxembourg

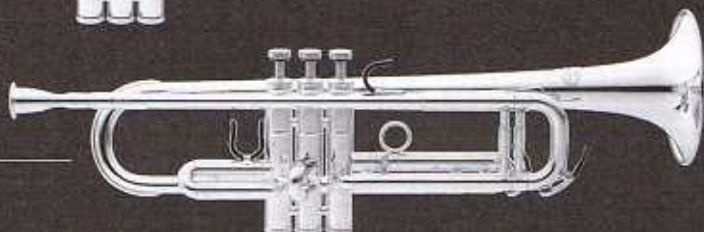
- TR-501G "WM"  
¥703,500 (税込) <ケース付> 仕上げ: シルク24K金メッキ
- TR-303S "シンフォニー"  
¥117,900 (税込) <ケース付> 仕上げ: 銀メッキ
- TR-206S "オールラウンド"  
¥302,400 (税込) <ケース付> 仕上げ: 銀メッキ
- TR-106S "ニューヨーク"  
¥260,400 (税込) <ケース付> 仕上げ: 銀メッキ
- TR-105S "ミレニアム"  
¥207,900 (税込) <ケース付> 仕上げ: 銀メッキ
- TR-C01S "アルマンド" <C管>  
¥448,350 (税込) <ケース付> 仕上げ: 銀メッキ



TR-303S

"シンフォニー"

\*マウスピースは付属していません



TR-C01S

"アルマンド" <C管>



きないほどの美点にあふれた、そう、これはまさに「芸術品」なのだ。ウィントン・マルサリスをはじめ数多くのプロフェッショナルが愛用するBSCの現行モデルにも通底する、楽器族の心をとらえて離さない「美学」は、そのスタートラインから厳然と存在していたのだ。

そんなKATO氏は、いったいどん

なお子さんだったのだろうか。昨年、関西のみでKATO氏のドキュメンタリーがTV放映されたのをご存知の楽器族も多いだろうけれど、そこでご紹介されたご両親に、縁あってお会いすることができた。

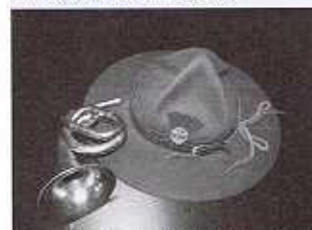
「うちでは口数の少ない子でしたが(笑)すくものごとをひとつひとつ大事にする子でした…」

現在はリタイアされ、風光明媚な千葉の九十九里に暮らすご両親。KATO氏は中学時代には世田谷で暮らしていたが、世田谷から千葉までの自転車旅行を計画し、見事にそれを成功させたこともある、という。

「ケガの一つやふたつは、覚悟していました(笑)」とご母堂は親笑みが、今時の子離れ出来ない「似非親」たちには想像もつかない、立派な態度である。こういうご両親がいればこそ、KATO氏は単身異国にわたり、事業を立ち上げる勇気をもつことができたのだ。腰の座った「子育て」が、見事に腰の座ったBSCサウンドの源流にある、といったら言い過ぎだろうが。ボーイスカウト活動も若き日のKATO氏には絶大な影響を与えていたようで、ご両親はその時代の帽子を大切に保管していた。また、左のホルネットとは別に、氏が初めて制作してご両親にプレゼントした「ホルン」も大切に保管されていた。「この「ホルン」は、本当は楽器じゃな



思い出のカウボーイハットを手にするお父様と、KATO氏の大好き物であるギョーザつくりにかかせないフライパンを手にしたお母様



思い出のボーイスカウト帽と初めて買った「ホルン」

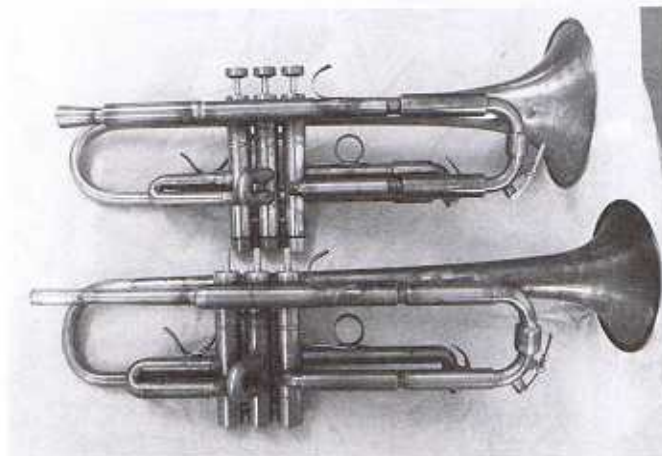
くて時計のついた飾り物だったんですよ(笑)」

しかし、ベル縁もフラットに仕上げられた「名器」のたたずまいは、たぶん吹いたらいい音がするだろうな…と思わせるに充分。

「この夏、あの子は久しぶりに帰国するんです。餃子が好きでしたから(TV番組でも、お母様が手作りして冷凍しルクセンブルクに運搬された餃子を、自ら「じゅーっ」と効果音を口づさみながら焼いている姿が放映されたのを記憶になっている方も多いことだろう)たくさん作って、食べさせてやろうと思ってます」

そう、KATO氏はこの夏に、久々の「里帰り」を果たす。ここで紹介したプロトタイプを、あるいはその「進化形」を、おそろくは携えて。次号では、可能な限りKATO氏の「最新情報」をご案内したい。

★



試作状態の「ニューオリンズ」近日発売予定



随所にBSCならではのこだわりがみられる。左写真の上から2番目が「オペラ」(日本未発表)。KATO氏によるハンドメイド品で、歌劇場での特殊な要求を満たす楽器がテーマ。ホルンのようにホールを満たすウィナータイプの音色が特徴



## ヨーロッパのハンドメイドが培った完成度

ヨーロッパ発。オーケストラでもアンサンブルやソロでも、卓越した表現力と吹きやすさで、いま最も熱い視線を浴びるトランペット、それが「BSC」



あるメーカーの楽器を30年以上もの間使い続けてきたが、これを上回る楽器にはもう巡り合わないだろうと思っていた。ところが、ところが、ホント生きていて良かった！

BSCは「吹きやすい」とか「音程が良い」とかの次元ではない。とにかく「音楽しやすい」のだ。

特に「音色が素晴らしい」。「柔らかくて力強く、ヨーロッパの品位が感じられる。」

百聞は一見に如かず。試してみることを是非お勧めしたい。

NHK 交響楽団首席奏者 関山 幸弘



日本総輸入元

株式会社 **セレクト インターナショナル**

〒272-0836 市川市 北園分 1-B-2  
e-mail: info@select-inter.com

TEL: 047-374-0792 FAX: 047-372-2704

URL: <http://www.select-inter.com>